

# 定期作況報告

(第2号 平成15年6月20日現在)  
北海道立上川農業試験場

## 1. 気象概況

5月下旬：最高気温は平年より3.3℃高く、最低気温も平年より0.4℃高かった。降水量は平年より27mm少なかった。降水日数は平年より2日少なかった。日照時間は平年より4.9時間少なく、平年対比91%であった。夏日（最高気温25℃以上）は2日間であった。

6月上旬：最高気温は平年より2.8℃高く、最低気温は平年より0.3℃低かった。降水量は平年並であった。降水日数は平年より1日少なかった。日照時間は平年より27.9時間多く、平年対比155%であった。夏日は2日間であった。

6月中旬：最高気温は平年より2.8℃高く、最低気温も平年より1.9℃高かった。降水量は平年並であった。降水日数は平年より1日少なかった。日照時間は平年より14時間少なく、平年対比73%であった。夏日は6日間であった。

5月下旬から6月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

調査項目	5月下旬			6月上旬			6月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	23.1	19.8	3.3	22.4	19.6	2.8	24.7	21.9	2.8	23.4	20.4	3.0
最低気温(℃)	8.8	8.4	0.4	8.6	8.9	▲0.3	13.0	11.1	1.9	10.1	9.4	0.7
平均気温(℃)	15.5	13.9	1.6	15.6	14.0	1.6	18.8	16.2	2.6	16.6	14.7	1.9
降水量(mm)	4	31	▲27	28	26	2	17	19	▲2	49	76	▲27
降水日数(日)	2	4	▲2	3	4	▲1	2	3	▲1	7	11	▲4
日照時間(h)	50.3	55.2	▲4.9	78.7	50.8	27.9	38.8	52.8	▲14.0	167.8	158.8	9.0

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10か年の平均値。

3) ▲印は平年に比べて減を示す。

## 2. 作 況

### 1) 水稲 : 良

事由：移植は中苗、成苗とも平年に比べ2日早い5月19日に行った。移植後の天候は良く、活着は良好であった。その後も好天が続いたため生育は良好であった。

6月20日現在、中苗、成苗とも主稈葉数は平年より約1枚多く、 $m^2$ 当たり茎数は平年を大幅に上回った。草丈は平年をかなり上回った。

以上より、目下の作況は「良」である。

表2 6月20日現在の本田生育

品種名 苗	主稈葉数 (枚)			茎 数 (本/ $m^2$ )				草 丈 (cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	対比(%)	本年	平年	比較
きらら 397 中苗	8.6	7.5	1.1	732	442	290	166	31.4	26.4	5.0
ほしのゆめ 中苗	8.2	7.3	0.9	760	420	340	181	35.5	27.6	7.9
きらら 397 成苗	9.0	7.9	1.1	918	495	423	185	37.6	28.6	9.0

注1) 平年値は平成8～14年7カ年のうち平成10年(最豊年)、平成11年(最凶年)を除いた5カ年の平均を用いた。ただし、「ほしのゆめ」は平成9～14年6カ年のうち同2年を除く4カ年の平均を用いた。

### 2) 本田耕種概要

施肥量 : N、 $P_2O_5$ 、 $K_2O$ 成分をそれぞれ9.0、11.0、8.0(kg/10a)

栽植密度 : 25株/ $m^2$  (33.3cm×12.0cm)

植え本数 : 中苗 ; 4本/株、成苗 ; 3本/株

移植日 : 中苗、成苗とも5月19日

### 2) 秋まき小麦 : 平年並

事由：5月下旬以降の好天により、生育は雪腐病の被害による遅れを取り戻し、出穂期は平年並となった。草丈は平年を下回っているものの、平年よりやや少なく推移していた茎数は平年並となっている。

したがって、目下の作況は平年並である。

表3 6月20日の秋まき小麦の生育

品 種 名	出 穂 期 (月日)			草 丈 (cm)			茎 数 (本/ $m^2$ )		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
タイセツコムギ	6.12	6.12	0	87.1	90.6	▲3.5	632	637	▲5
ホクシン	6.7	6.8	△1	80.6	90.7	▲10.1	684	674	10

注1) 平年値は、前7か年中、平成9年、14年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。▲は平年より減を示す。

3) とうもろこし : 良

事由：出芽期は平年より4日～6日早かった。出芽後の気温が平年より高く推移したため、初期生育は良好で、草丈、出葉数とも平年を大きく上回っている。

したがって、目下の作況は良である。

表4 6月20日のとうもろこしの生育

品 種 名	出 芽 期 (月日)			草 丈 (cm)			出 葉 数 (枚)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
キタユタカ	5.22	5.28	△6	71	42	29	10.5	7.6	2.9
P3732	5.24	5.28	△4	61	37	24	9.6	7.2	2.4

注1) 平年値は、前7か年中、平成12年、13年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。

3) 平成10年度より栽植本数を7576本/10aに変更した。

4) 大 豆 : やや不良

事由：播種は平年より1日遅く、更に播種前後の降雨がほとんど無かったため土壌が乾燥し、出芽は不整一となった。5月30日からの降雨によって、最終的には出芽をみたが、出芽期は平年より8日遅れた。出芽後は気温が高めに経過したため、生育は順調であるが、出芽の遅れを回復するには至っていない。主茎長は「トヨムスメ」では平年並で、「トヨコマチ」では平年より短い。主茎節数は両品種とも平年を下回っている。

したがって、目下の作況はやや不良である。

表5 6月20日の大豆の生育

品 種 名	出 芽 期 (月日)			主 茎 長 (cm)			主 茎 節 数 (節)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ	6.9	6.1	8	10.4	10.1	0.3	3.3	3.5	▲0.2
トヨコマチ	6.9	6.1	8	10.9	12.0	▲1.1	3.4	4.0	▲0.6

注1) 平年値は、前7か年中、平成9年（最豊）及び平成8年（最凶）を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より減を示す。

5) 小 豆 : やや良

事由：播種が平年より1日早かったが、播種後しばらく降雨がなく、土壌が乾燥したため、出芽期は平年より2日遅れた。出芽後の気温が高かったため生育は進んでおり、主茎長、主茎節数は両品種とも平年を上回っている。

したがって、目下の作況はやや良である。

表6 6月20日の小豆の生育

品 種 名	出 芽 期 (月日)			主 茎 長 (cm)			本 葉 数 (枚)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
サホロショウズ	6.10	6.8	2	5.9	3.5	2.4	1.5	0.8	0.7
エリモショウズ	6.10	6.8	2	6.8	3.9	2.9	1.3	0.7	0.6

注1) 平年値は、前8か年中、平成14年（最豊）、平成11年（最凶）及び平成12年（参考）を除く5カ年の平均値。

6) ばれいしょ : やや良

事由：植付けは平年より2日早かったが、萌芽期はほぼ平年並となった。5月下旬～6月中旬までの平均気温は平年より高めに経過し、降水量は5月下旬が少なかったものの6月に入りほぼ平年並となっており、開花始は平年より早く、茎長も平年値をやや上回っている  
したがって、目下の作況は「やや良」である。

表7 6月20日のばれいしょの生育

品 種 名	萌芽期 (月日)			開花始 (月日)			茎長 (cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
農林1号	5.25	5.25	0	6.19	6.23	△4	38.2	33.3	4.9
男爵いも	5.26	5.25	1	6.20	6.23	△3	35.6	32.0	3.6

注1) 平年値は、前5か年の平均値。但し、茎長は平成14年を除く4か年の平均値。  
2) △は平年より早を示す。

7) てんさい : やや良

事由：5月下旬～6月中旬までの平均気温は平年より高めに経過し、降水量は5月下旬が少なかったものの6月に入りほぼ平年並で、生育は順調に経過しており、草丈、生葉数とも平年値をやや上回っている。  
したがって、目下のところ作況は「やや良」である。

表8 6月20日のてんさいの生育

品 種 名	草丈 (cm)			生葉数 (枚/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
モノホマレ	38.3	34.2	4.1	13.9	13.0	0.9

注1) 平年値は前7か年中、平成10年、11年を除く5か年の平均値。